

2.5 森林ゾーニングに用いた要素

本市の森林ゾーニングを検討するにあたり、使用した資料一覧を表 2-24 に示す。

これらのほかに、高知県が整備した航空レーザ計測による森林資源解析情報をもとに、林業経営に適したスギ・ヒノキ林の分布状況を整理した。施業条件が良好なスギ・ヒノキ林は表 2-25 の条件をもとに抽出した。位置図を図 2-73～図 2-80 に示す。

表 2-24 使用したデータ

要素	内容	引用
流域界	市内の主要河川の流域区分	国土数値情報
主要な河川	安芸川、伊尾木川等の河川	国土数値情報
森林の所有形態	市有林、官行造林、国有林、民有林、 県立自然公園の分布	安芸林業事務所管内図等
特定間伐促進区域	森林の多面的機能を発揮するために 設定された間伐や再造林等を積極 的に実施する区域	特定間伐促進計画に係る事 業計画図(安芸市 HP)
森の工場団地	森林資源の利活用促進のために集 約化され、認定を受けた区域 ※施業計画がないものも含む ※認定期間が超過したものも含む	森の工場位置図 (高知県 HP)
森林経営計画樹立森林	森林経営計画が樹立済みの森林	森林簿データ
土砂災害計画区域 土砂災害危険箇所	土砂災害の可能性のある区域	国土数値情報

表 2-25 設定した条件

区分	主な条件	面積
施業条件が良好な スギ・ヒノキ林	樹種：スギ、ヒノキ、新植地 斜面平均傾斜：45°以下、道路からの距離：500m 以内	約 8,710ha
施業条件が悪い スギ・ヒノキ林	樹種：スギ、ヒノキ、新植地 斜面平均傾斜：45°以上、道路からの距離：500m 以上	約 2,020ha
その他の森林	樹種：スギ、ヒノキ、新植地以外	約 11,120ha

※面積は航空レーザ計測に基づく林地台帳林相図から算出した概略数値

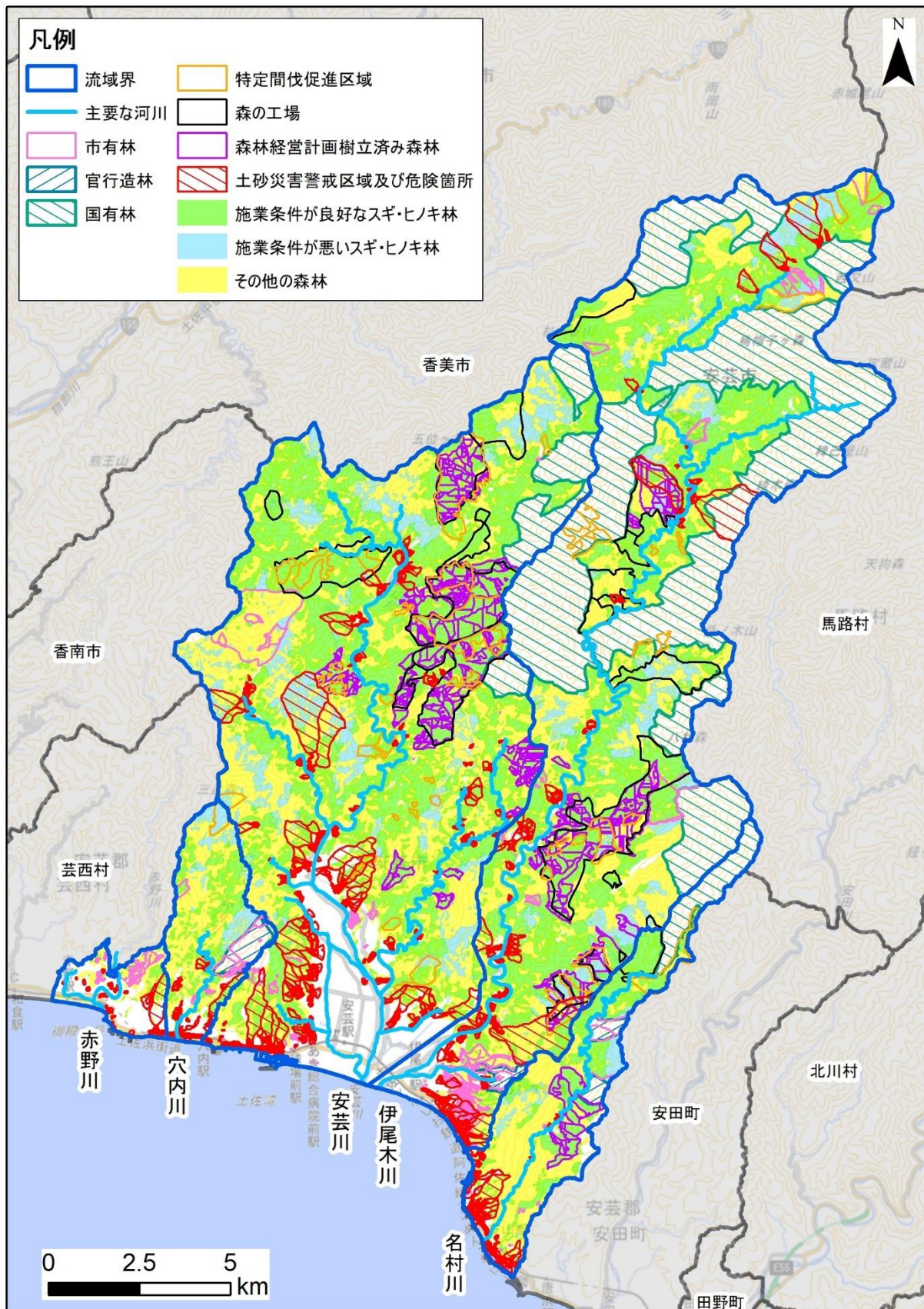


図 2-73 本市全域のゾーニング要素図

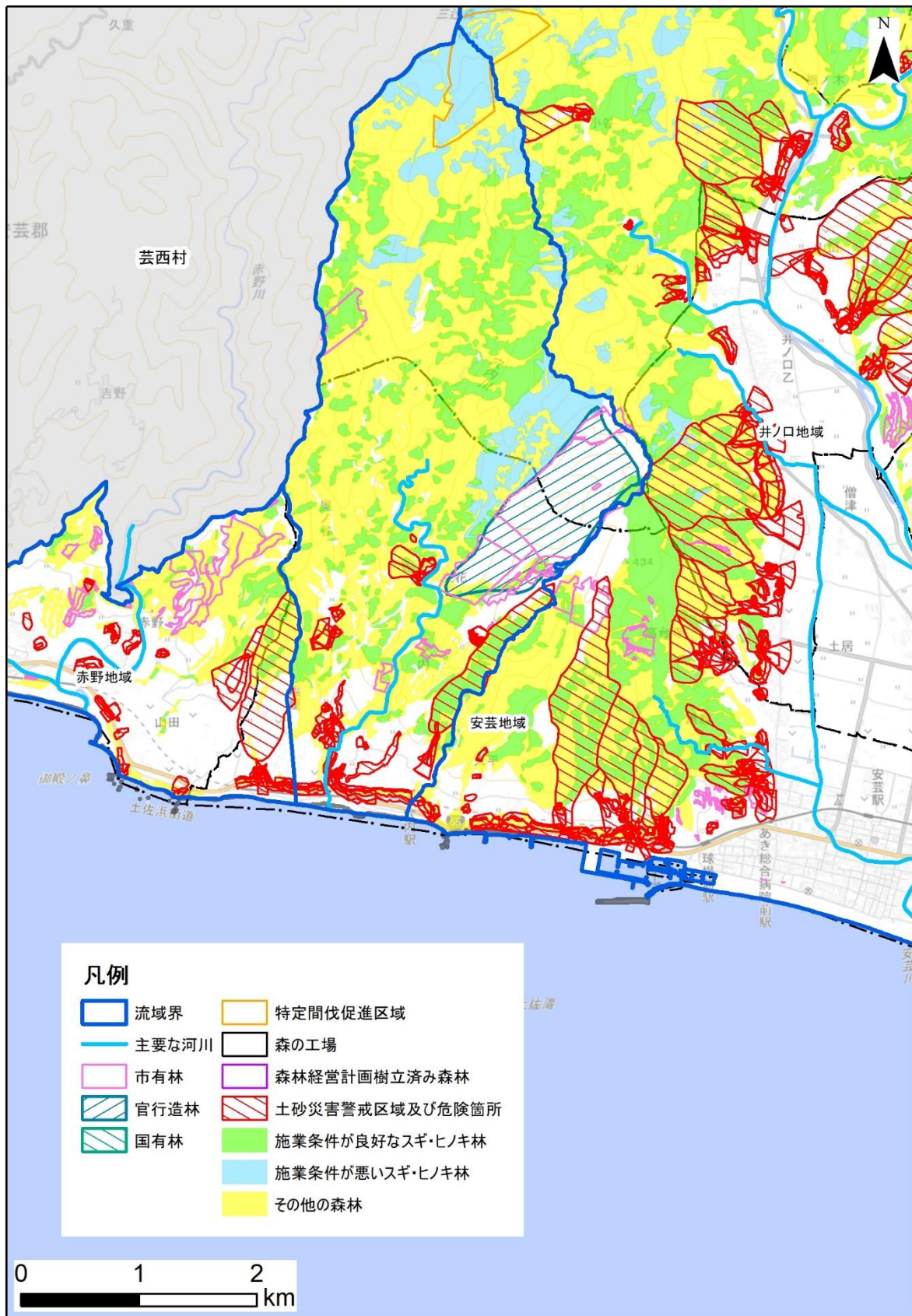


図 2-74 ゾーニング要素図(安芸地域)

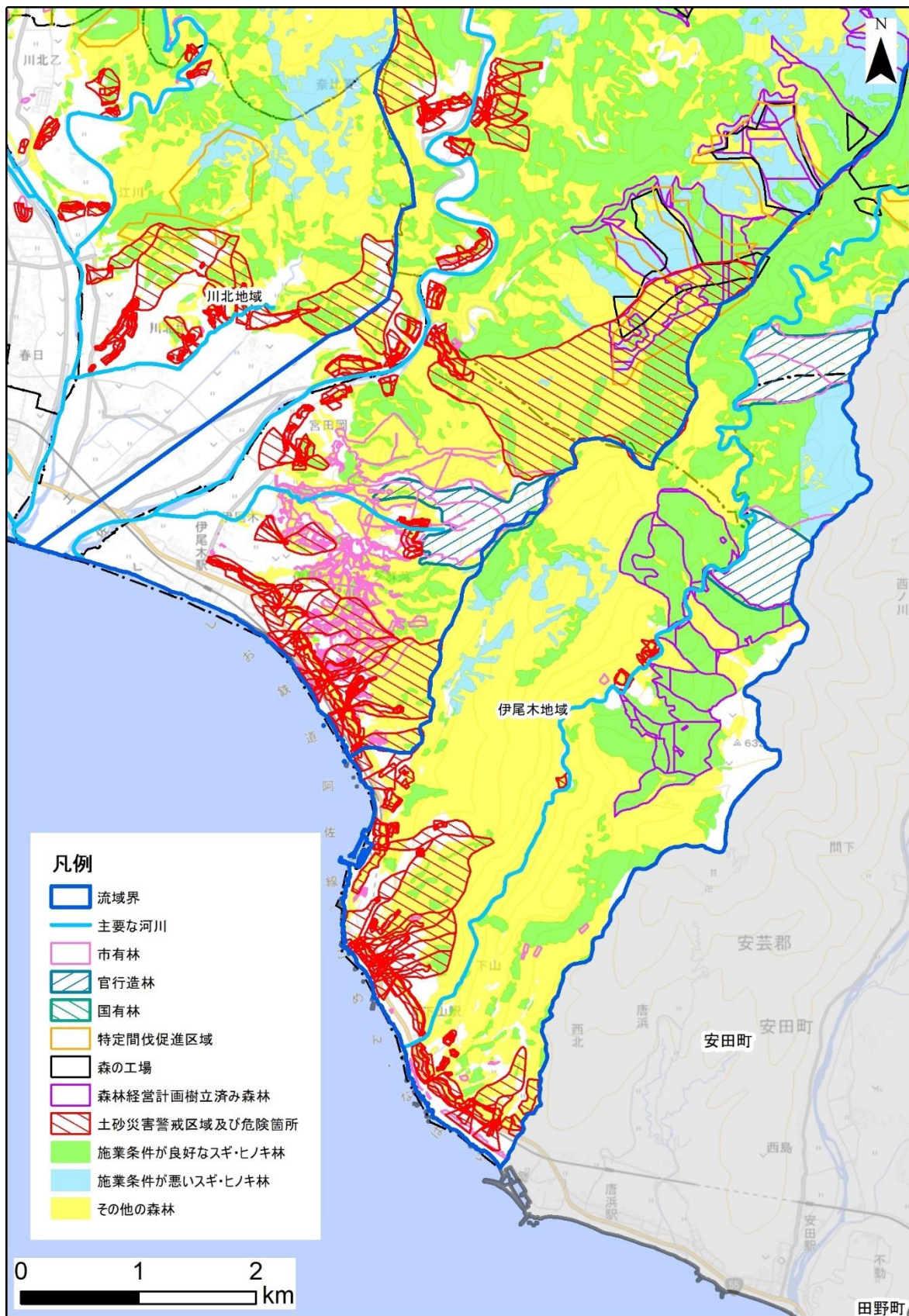


図 2-75 ゾーニング要素図(伊尾木地域)

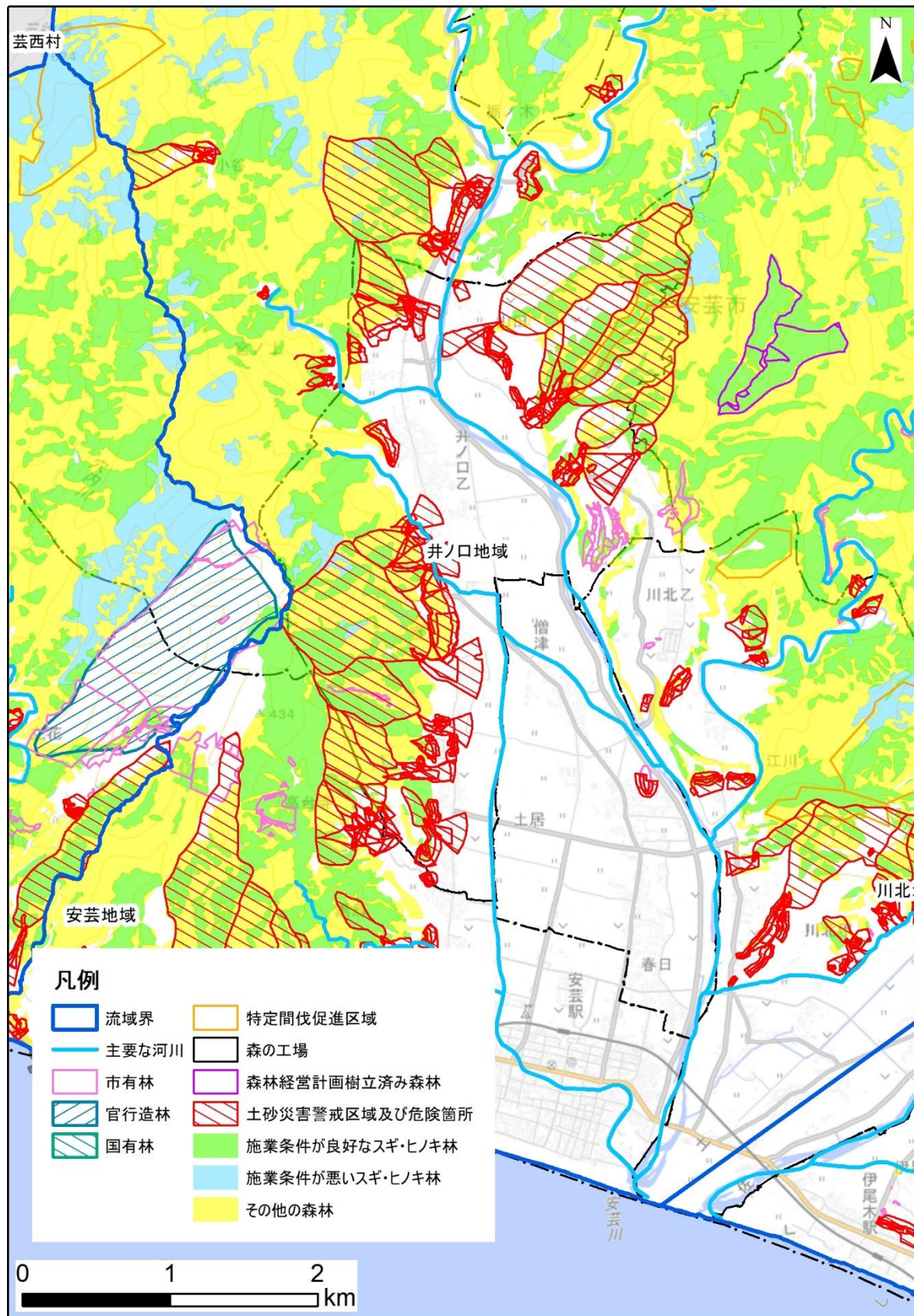


図 2-76 ゾーニング要素図(井ノ口地域)

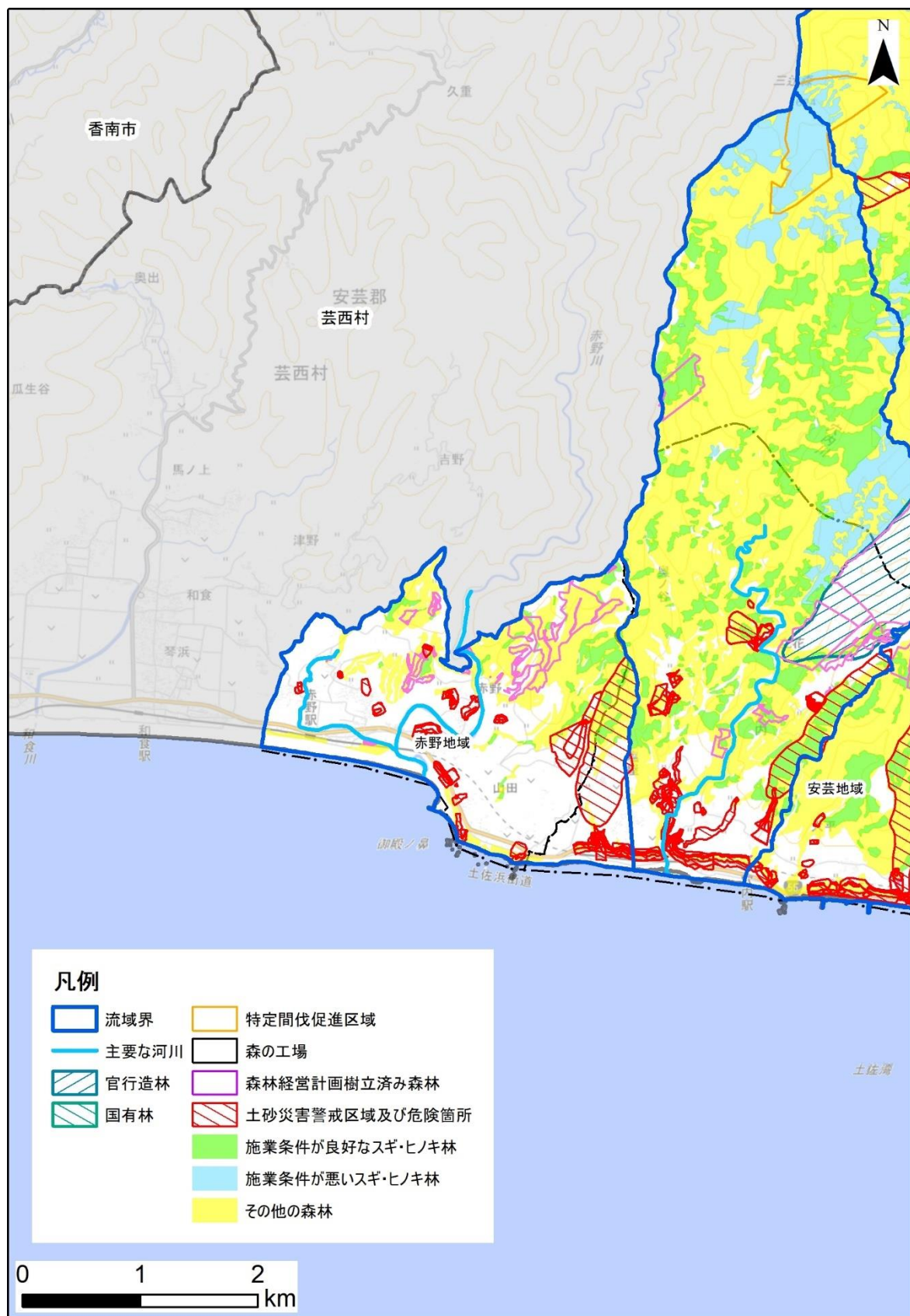


図 2-77 ゾーニング要素図(赤野地域)

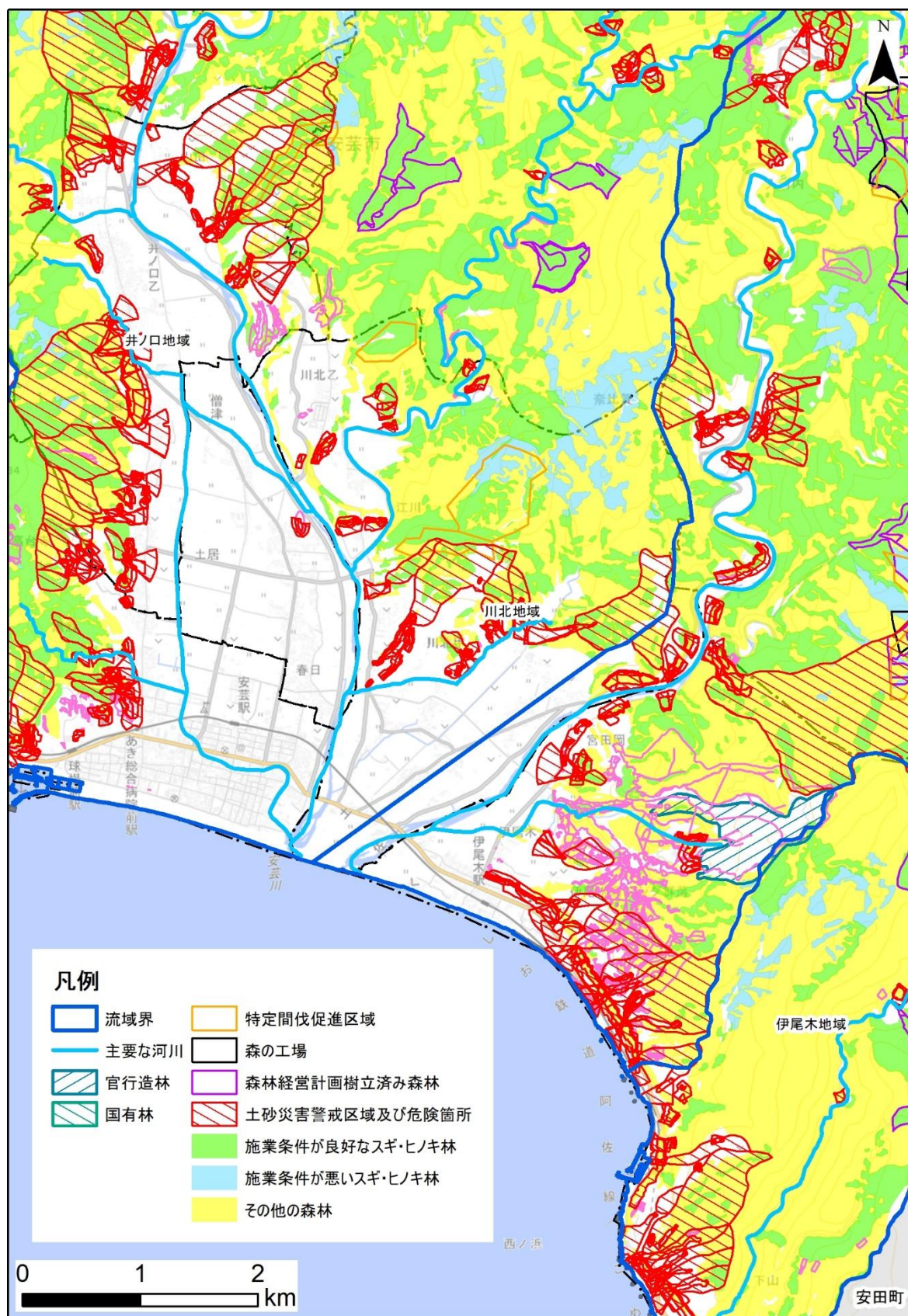


図 2-78 ゾーニング要素図(川北地域)

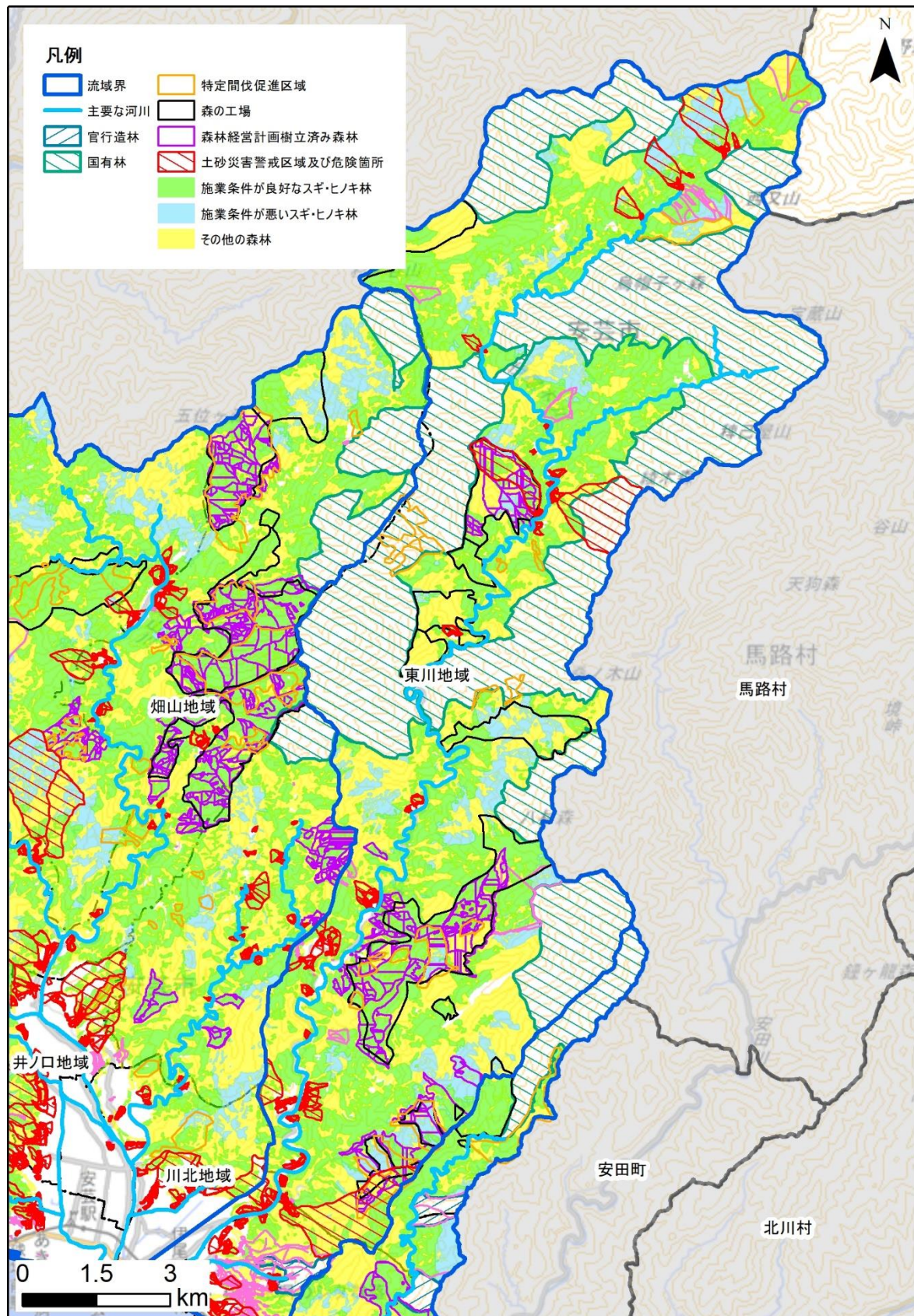


図 2-79 ゾーニング要素図(東川地域)

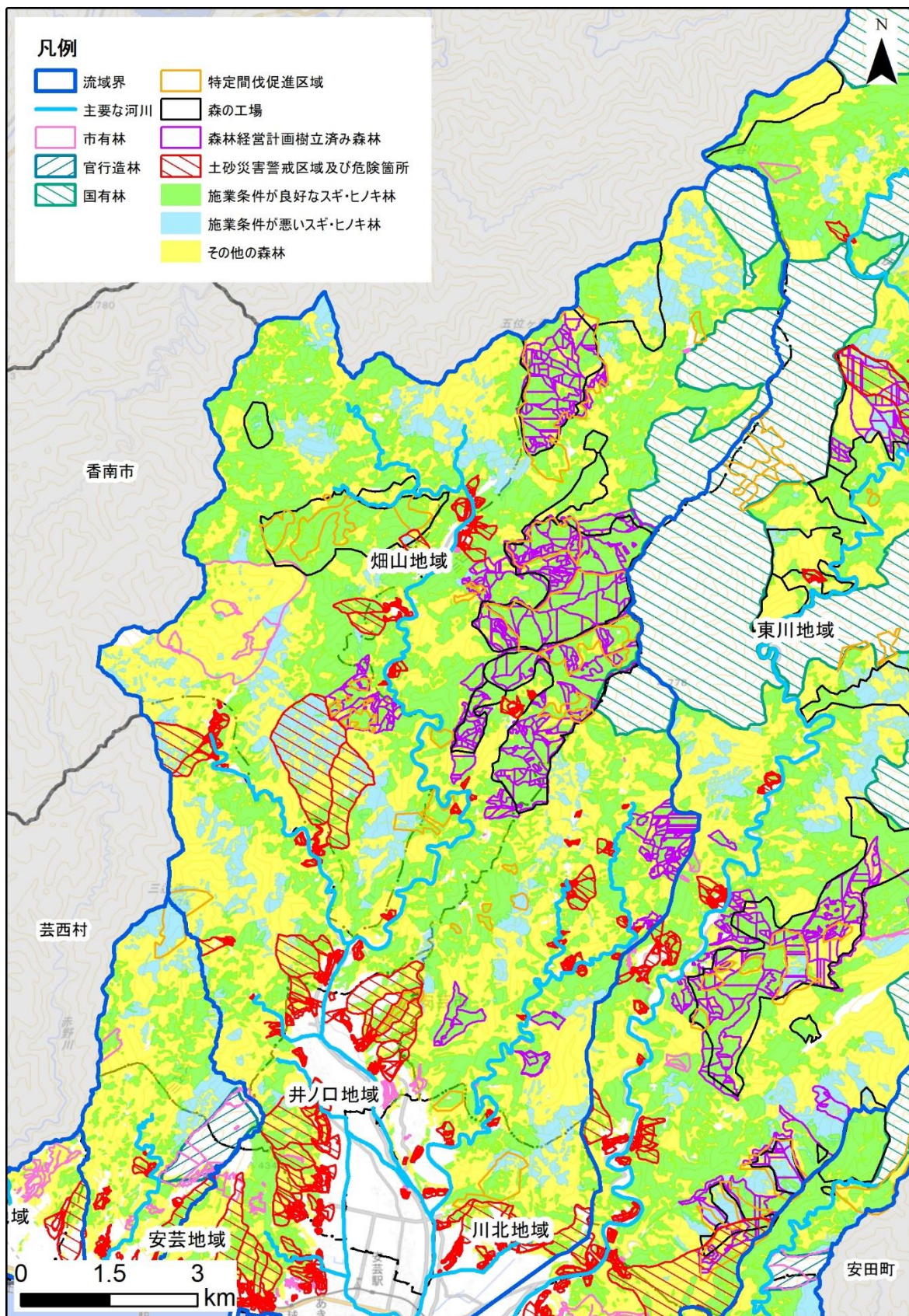


図 2-80 ゾーニング要素図(畑山地域)

2.6 森林ゾーニング結果

民有林を対象に森林の分布や地形条件、林業経営の実態、各種関連計画等の現況に基づき、林班単位でゾーニングを行った。

現状で林業経営が行われている森林とスギ・ヒノキ林のうち施業条件が良好と判断される区域は「生産林」とした。「環境林」は、多面的な機能の発揮を期待するスギ・ヒノキ林を含む森林、河川環境の保全のための間伐を推進する主要な河川沿いの森林、土砂災害防止に留意した森林施業を行う森林を設定した。

森林ゾーニング結果を表 2-26、図 2-81～図 2-88 に示す。

表 2-26 ゾーニング結果

区分		内容	面積
生産林	林業経営が行われている森林	特定間伐促進区域、森の工場団地、森林経営計画が立てられている区域	約 4,080ha
	林業経営が期待されるスギ・ヒノキ林を含む森林	木材生産を目的とした森林経営が期待される区域 【抽出条件】 林班面積に施業条件が良好と区分したスギ・ヒノキ林の面積が林班面積の 30%以上を占める区域	約 10,650ha
環境林	多面的な機能の発揮を期待するスギ・ヒノキ林を含む森林	施業条件が悪いスギ・ヒノキ林が多く分布し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮するための森林整備を実施していく区域 【抽出条件】 施業条件が悪いと区分したスギ・ヒノキ林の面積が林班面積の 30%以上を占める区域で、「林業経営が期待されるスギ・ヒノキ林を含む森林」に該当しない区域	約 1,000ha
	土砂災害の防止に留意した施業を行う森林	土砂災害の防止に留意して間伐等の施業を行うことを推奨する区域	約 2,060ha
	河川沿いの森林	河川周辺の間伐を推進し、幅 30m 以上の森林を緩衝林帯として残すなど、河川環境の保全のための森林整備を計画する区域	—
	利用を促進する森林	保健・レクリエーション機能の発揮を目指し、安全かつ快適な利用のための施業を行う区域	—
現状維持	現状を維持する森林	当面は現状を維持する森林区域 【抽出条件】 広葉樹林等のその他の森林の面積が林班面積の 70%以上を占める区域	約 4,060ha

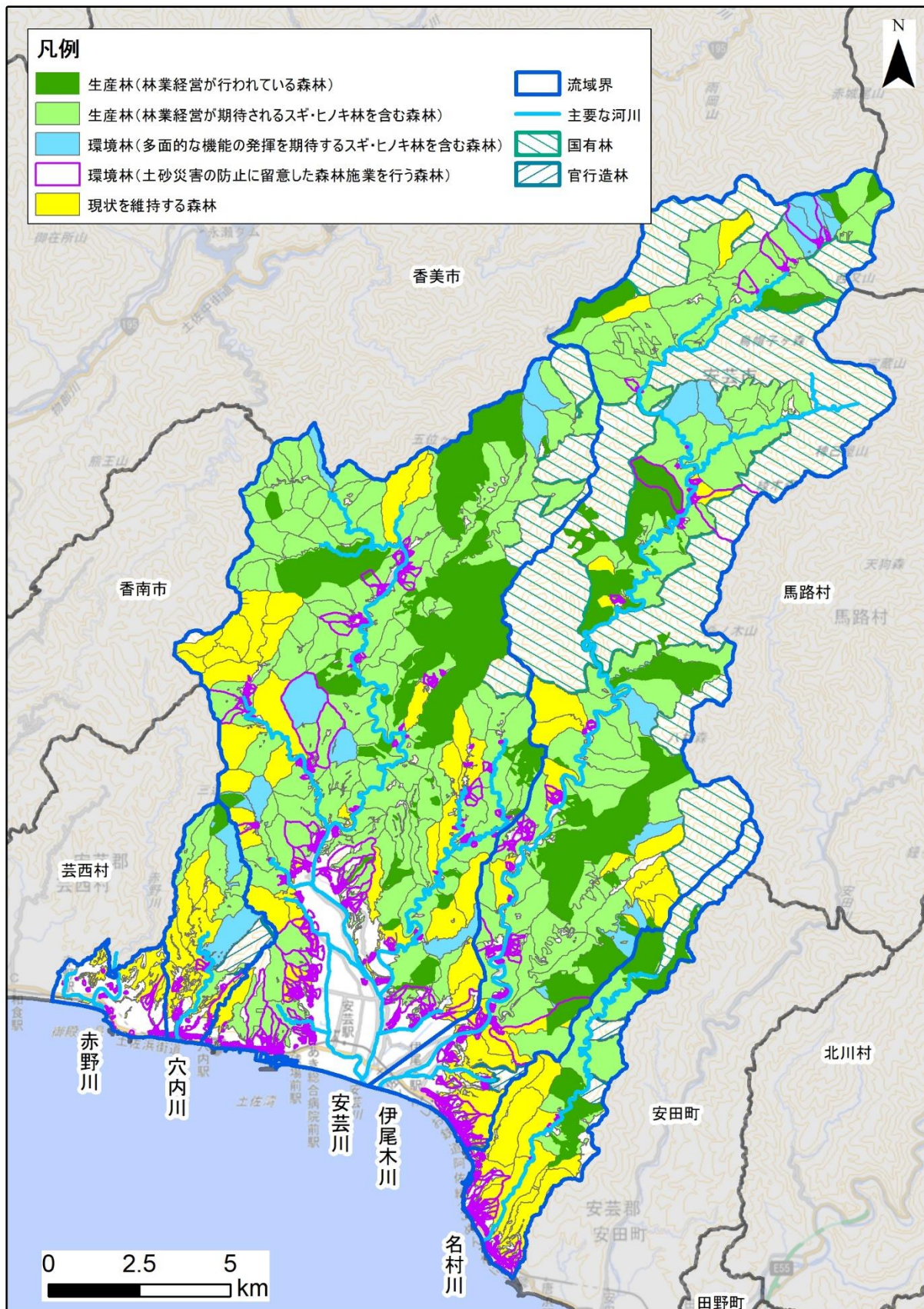


図 2-81 本市全域のゾーニング図

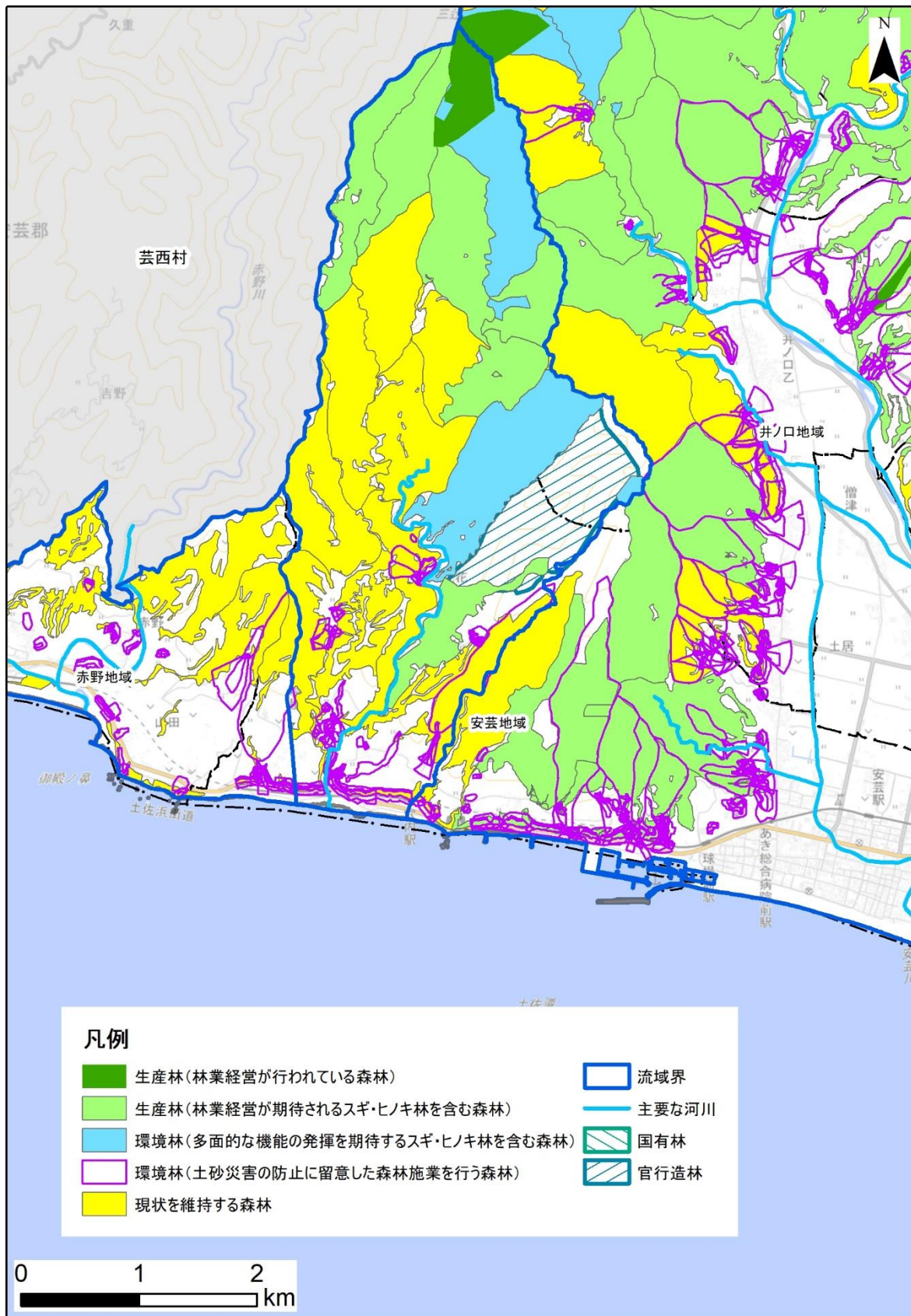


図 2-82 ゾーニング図(安芸地域)

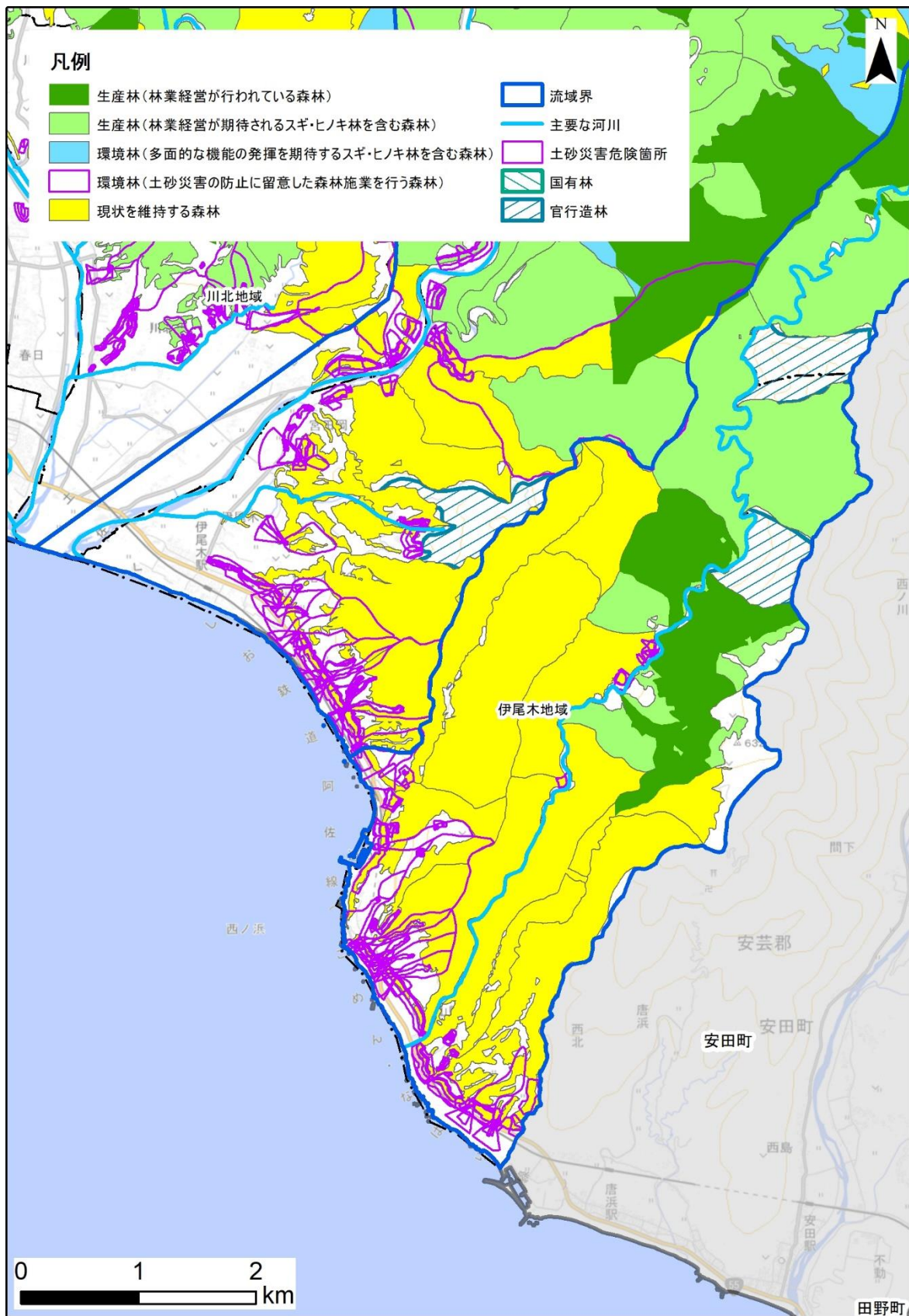


図 2-83 ゾーニング図(伊尾木地域)

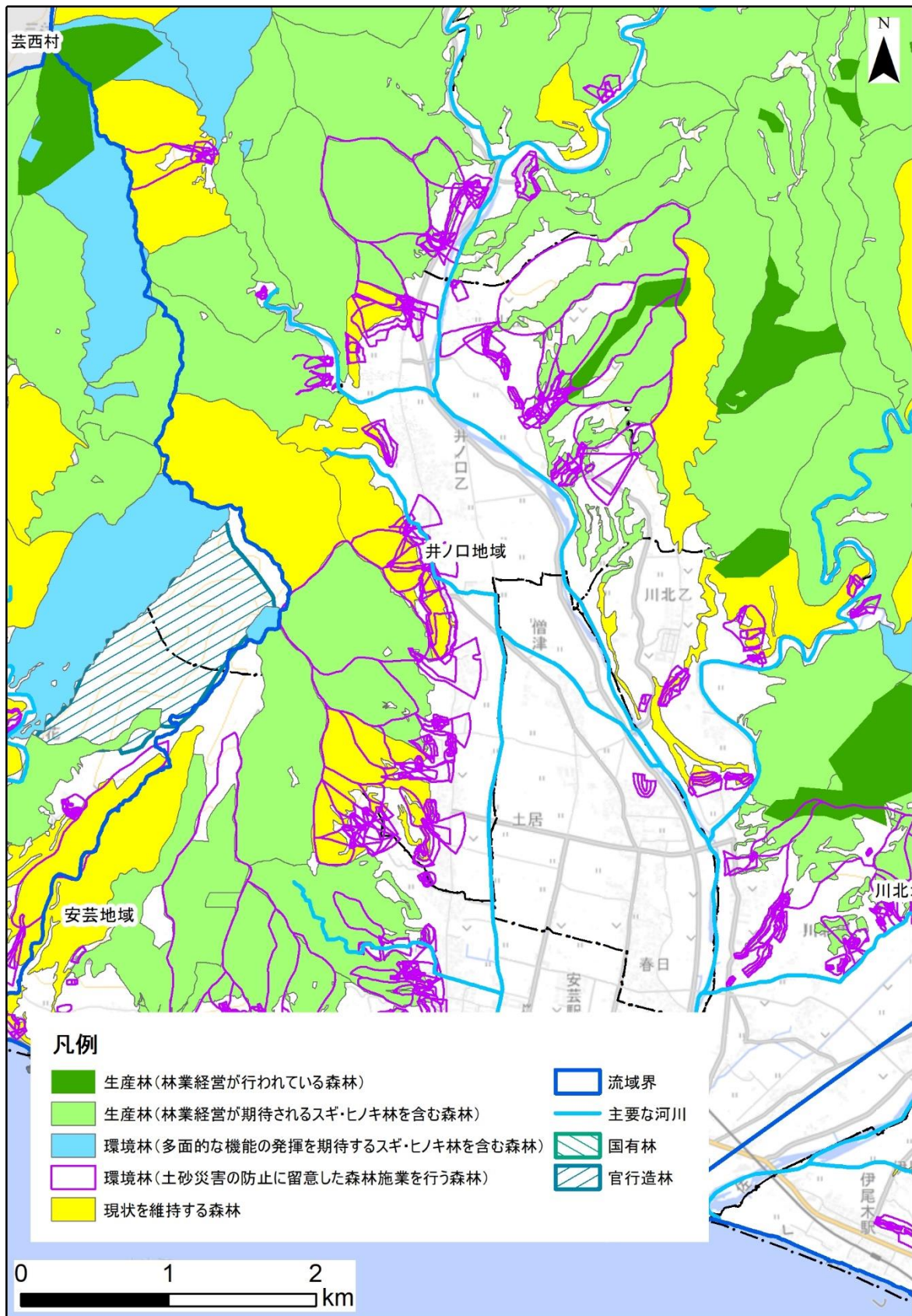


図 2-84 ゾーニング図(井ノ口地域)

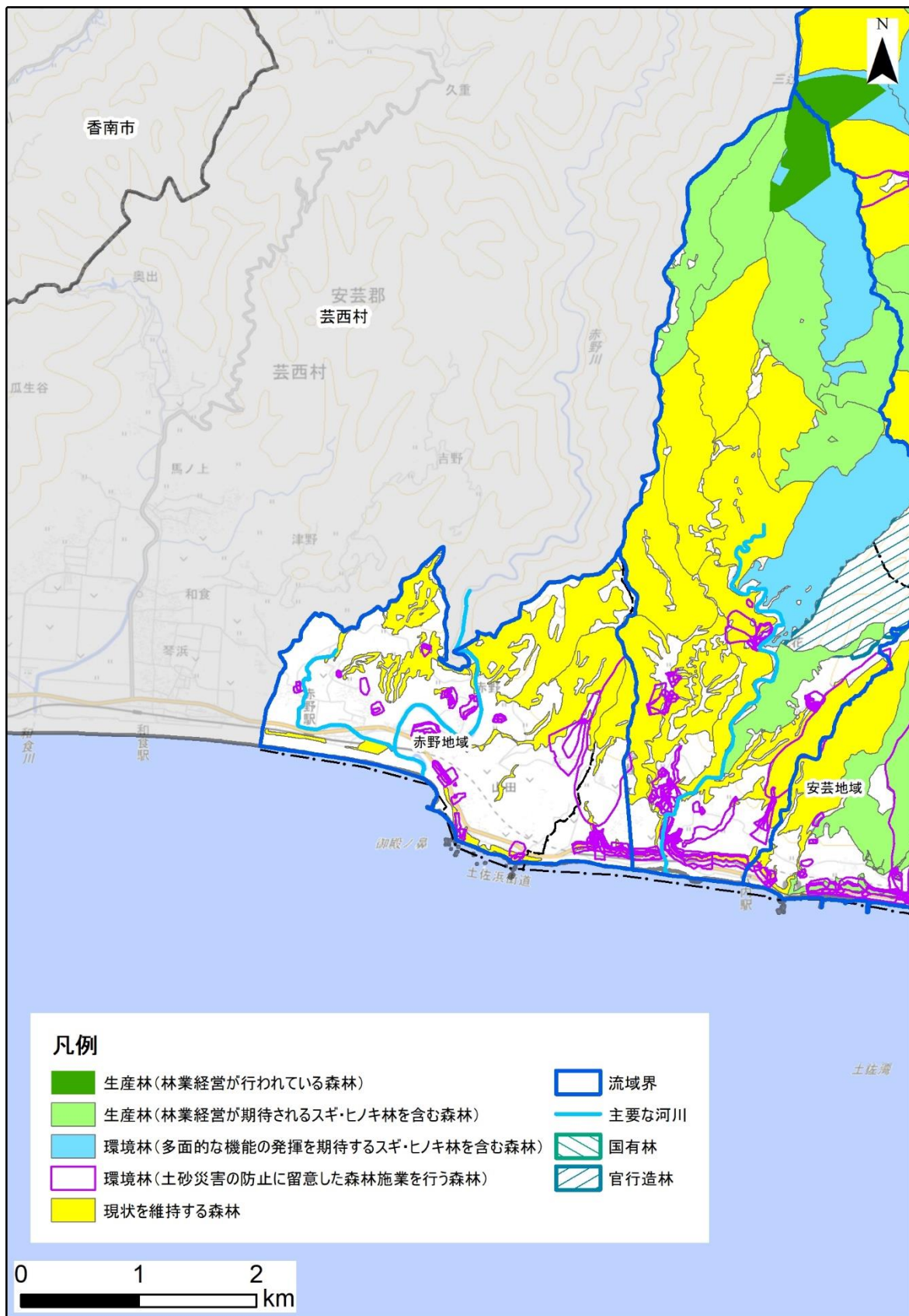


図 2-85 ゾーニング図(赤野地域)

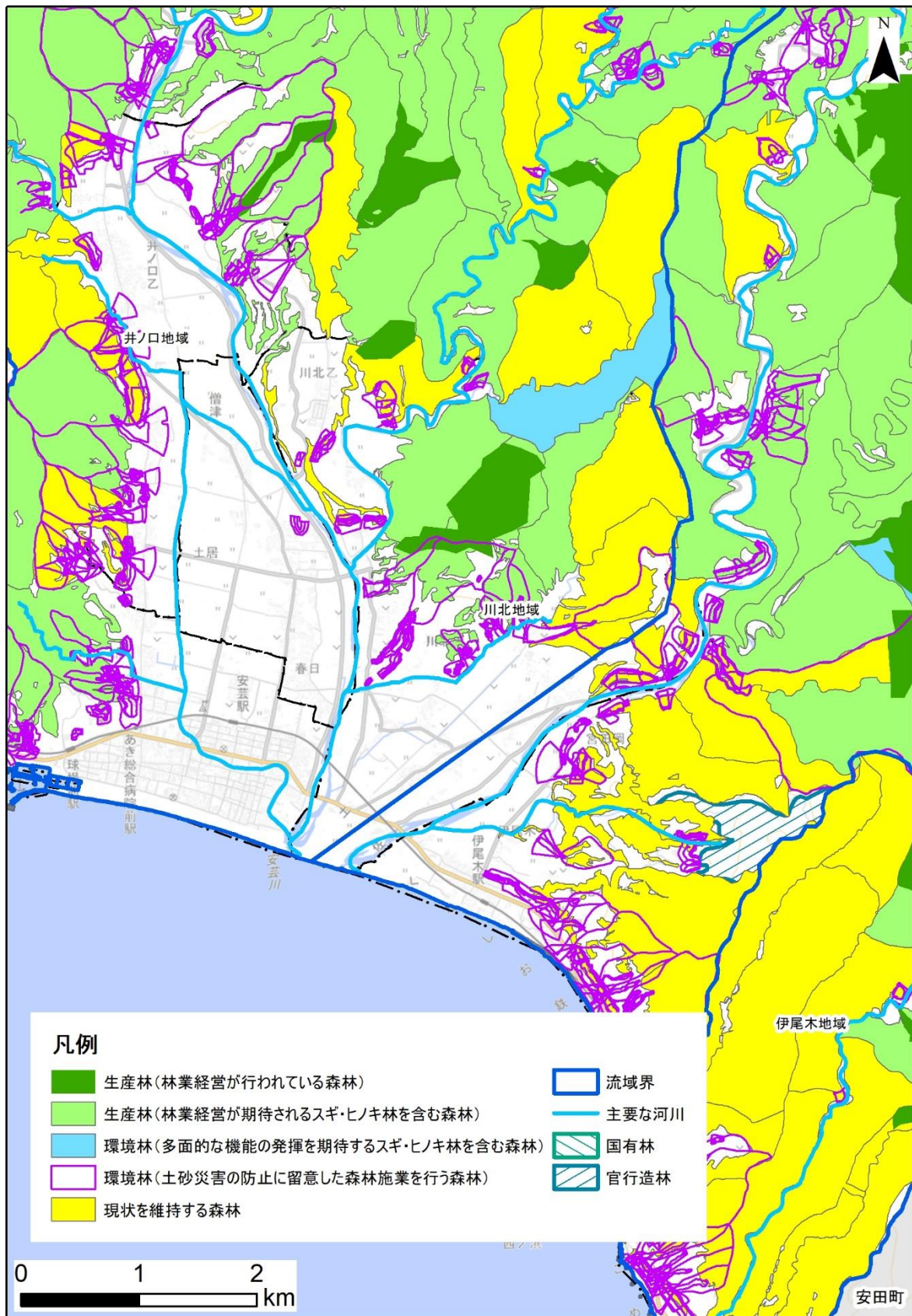


図 2-86 ゾーニング図(川北地域)

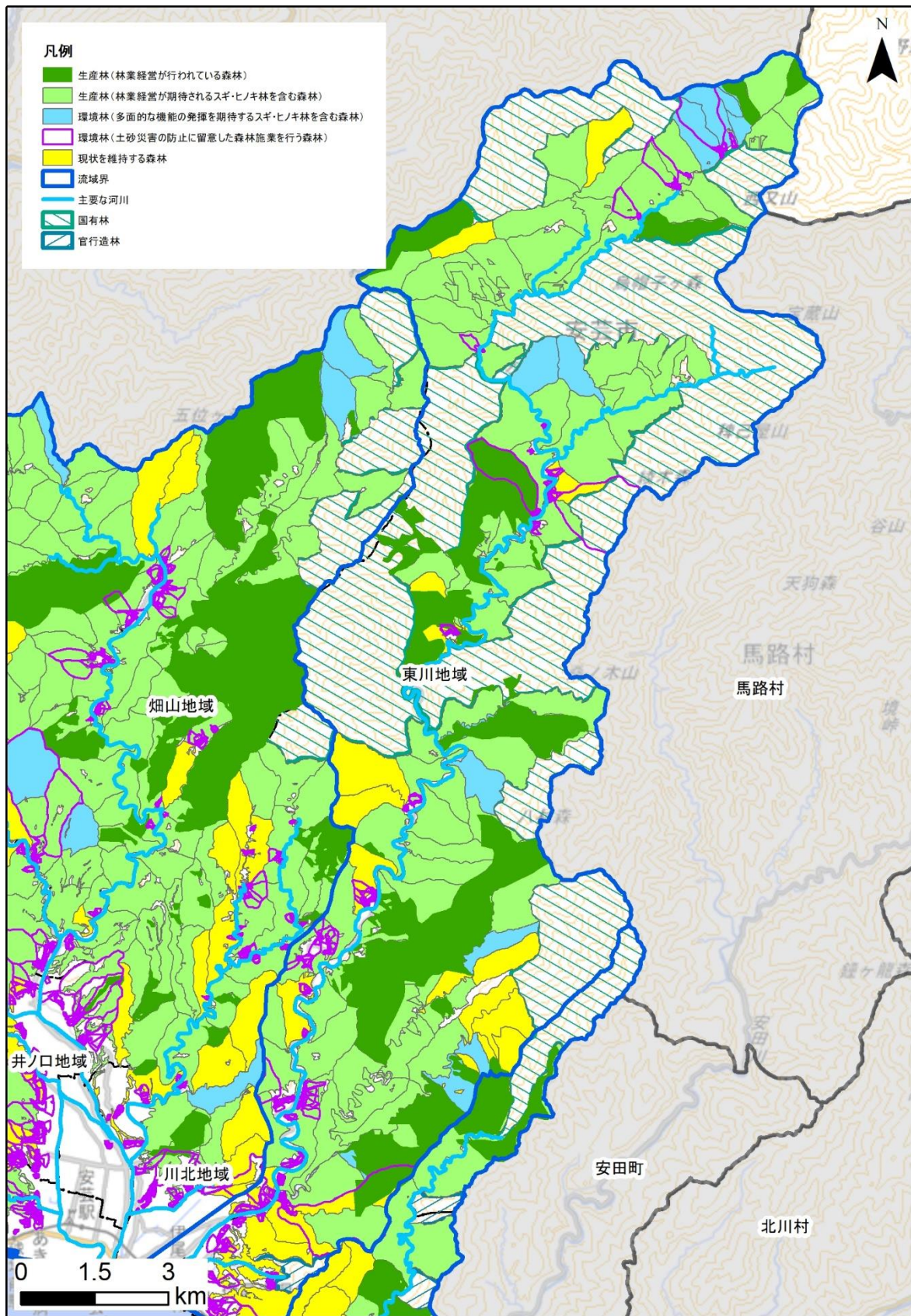


図 2-87 ゾーニング図(東川地域)

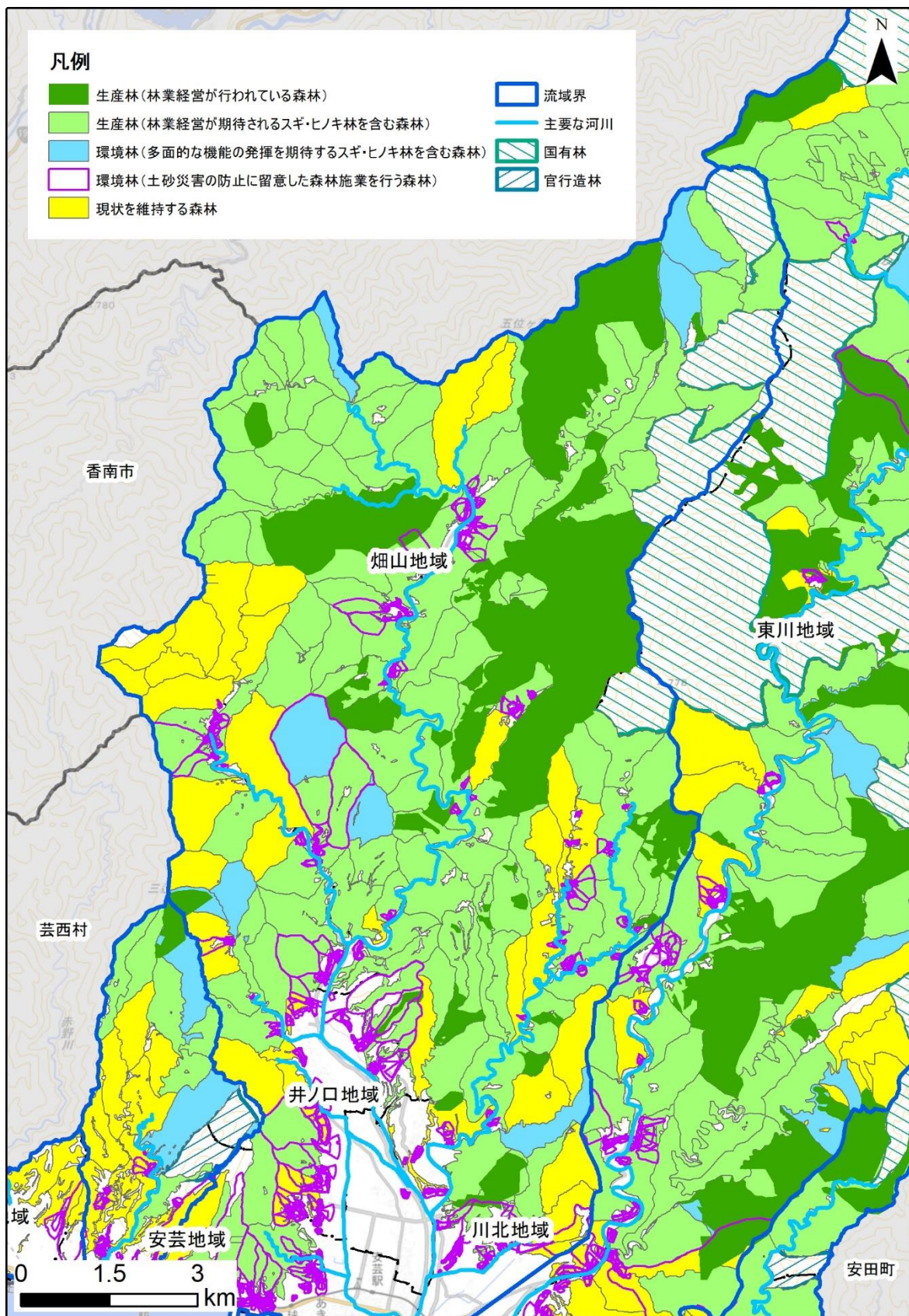


図 2-88 ゾーニング図(畑山地域)

2.7 今後森林整備が必要となる森林の分布

今後、森林整備が必要となるスギ・ヒノキ林を含む区域として、「生産林」と「環境林(多面的機能を期待するスギ・ヒノキ林を含む森林)」を抽出した。生産林では過密な状態にある要整備森林に対しては間伐を、材積が充実している森林では主伐・再造林を進めることが期待される。環境林では、過密林となっている要整備森林を対象として森林の多面的な機能を向上させるための間伐等の森林整備が望まれる。

間伐の必要な森林の抽出にあたっては、森林の混み具合を示す指標として「収量比数」と「相対幹距比」を用いて要整備森林を抽出した。このうち、主要な河川の周辺に分布する要整備森林については、河川環境の保全のために優先順位を高めて間伐を進める方針とした。

森林の 混み具合の指標		収量比数		相対幹距比	
要整備林	過密	0.9～	森林の混み具合や間伐の適期等を判断する指標の1つで、古くから林業の現場で用いられる。	20%～	樹木の高さを考慮し、同じ密度でも樹高が高い林分の方が混んでいると判断する指標である。
	密	0.8～ 0.9		17～20%	
中庸		0.7～ 0.8		14～17%	
疎		～0.7		～14%	

森林整備をすすめる必要があるとした林班のスギ・ヒノキ林の ha 当り材積の分布に着目すると、抽出した林班内のスギ・ヒノキ林は 9,553ha となっており、そのうち 6 割以上が伐採・収穫の時期に達している 500 m³以上/ha の材積分布となっていた。そのため、今後、主伐・再造林を推進するとともに、この充実した森林資源をふまえて森林の整備と活用を進めていく必要がある。

全体の分布を図 2-90 に、地域毎の分布を図 2-91～図 2-97 に示す。

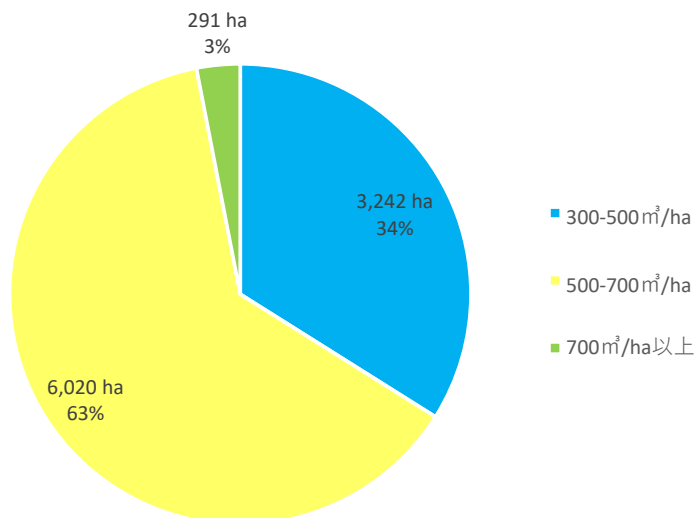


図 2-89 スギ・ヒノキ林の ha 当りの材積分布

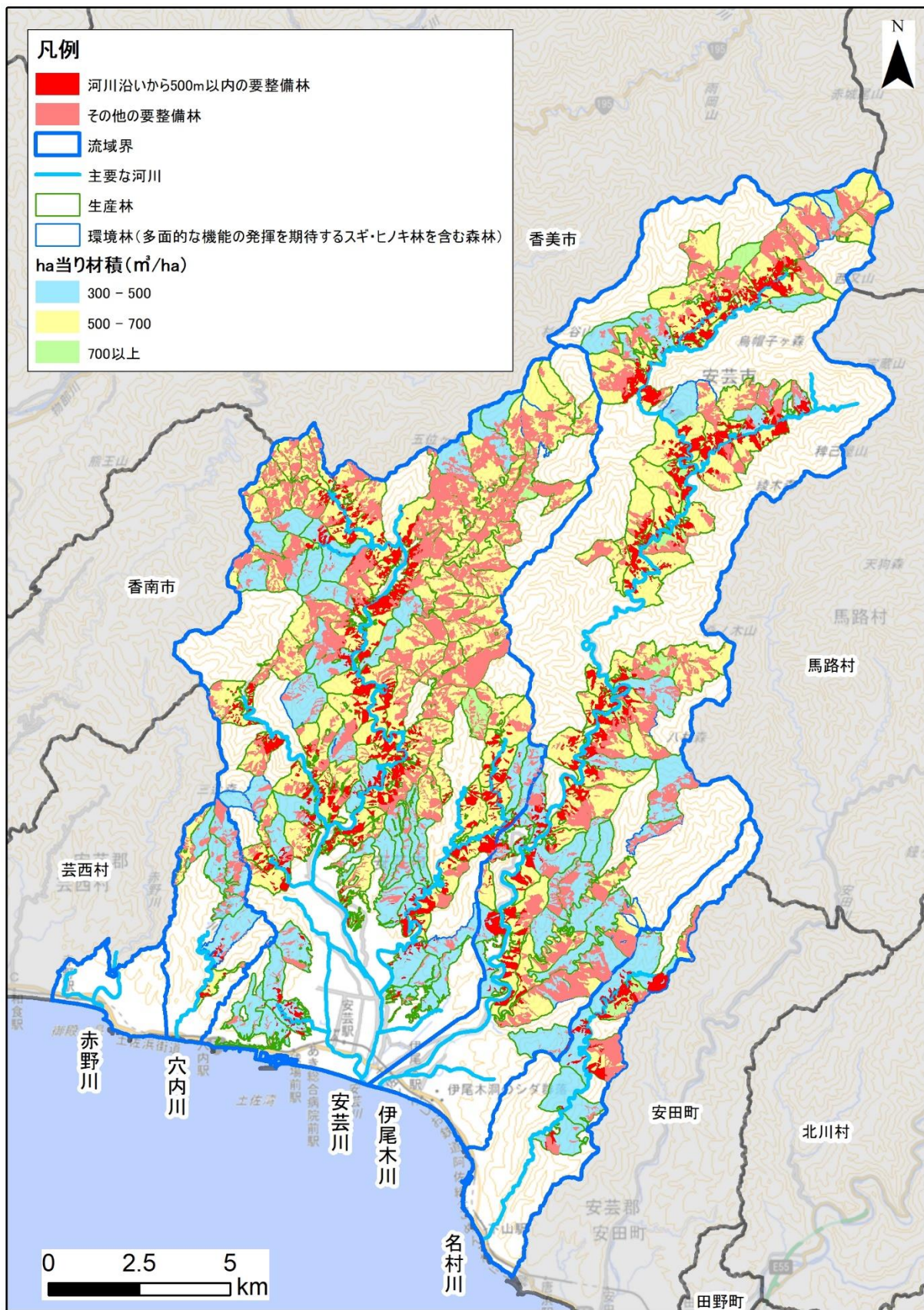


図 2-90 本市全域の要整備林の分布

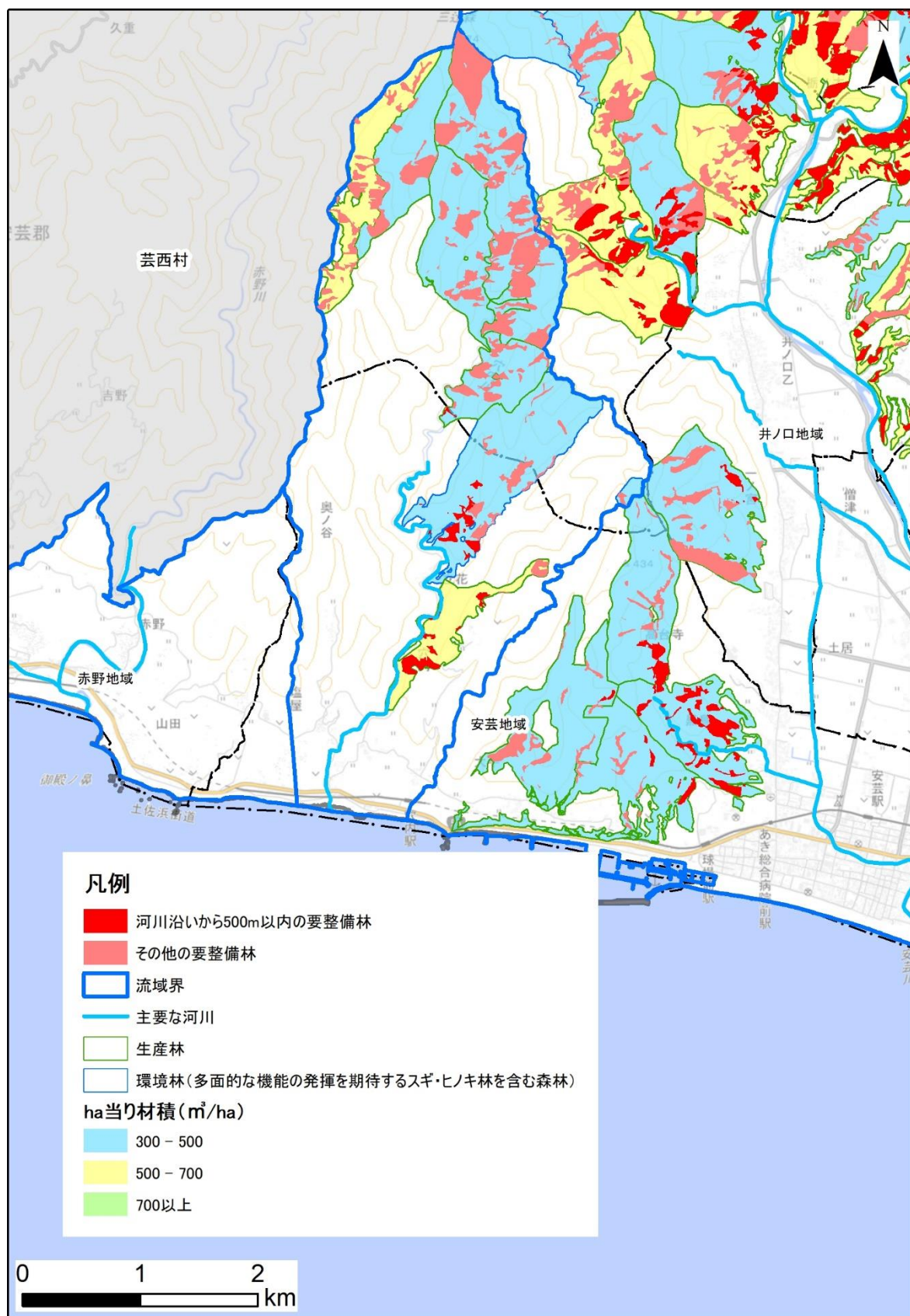


図 2-91 要整備林の分布(安芸地域)

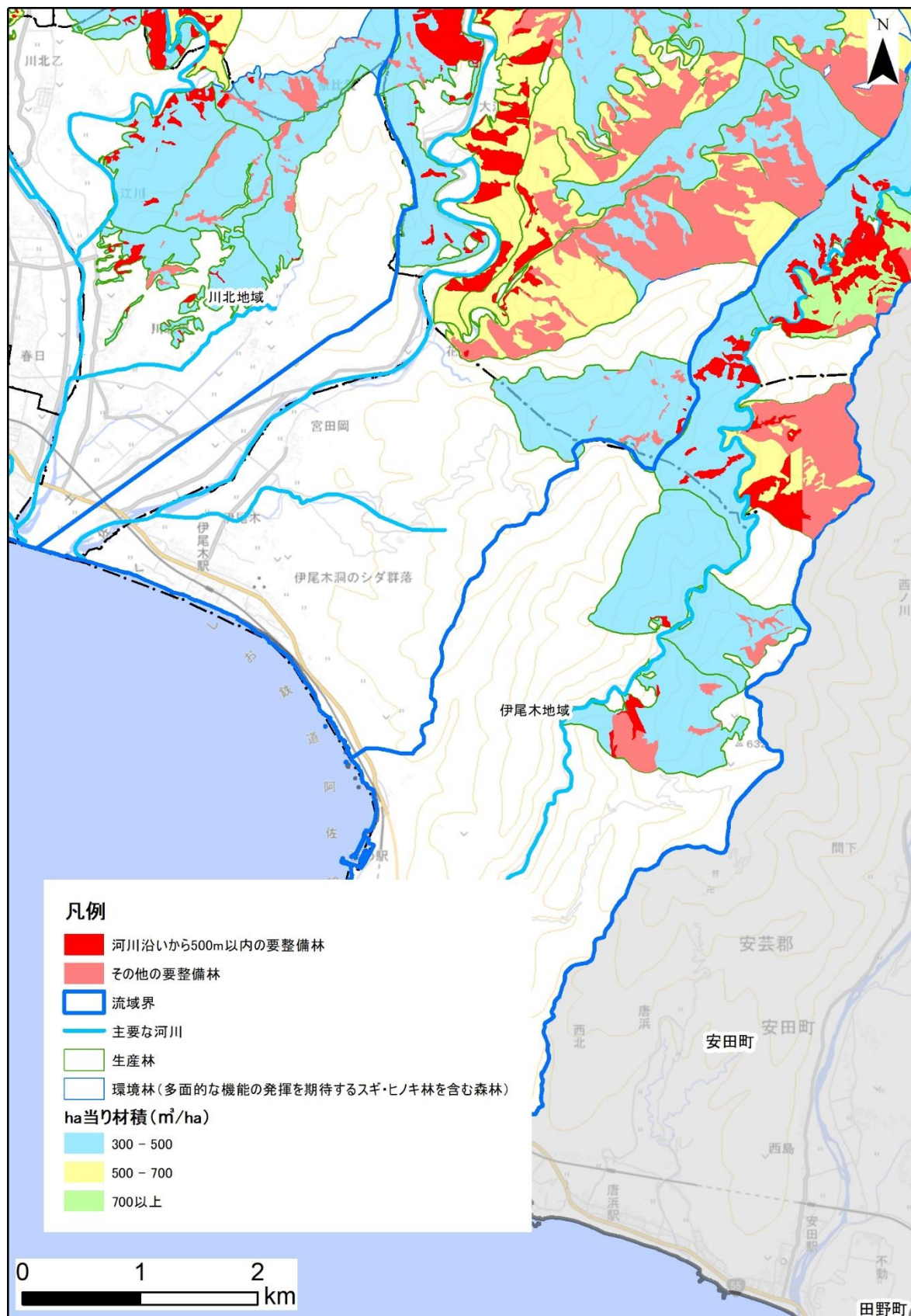


図 2-92 要整備林の分布(伊尾木地域)

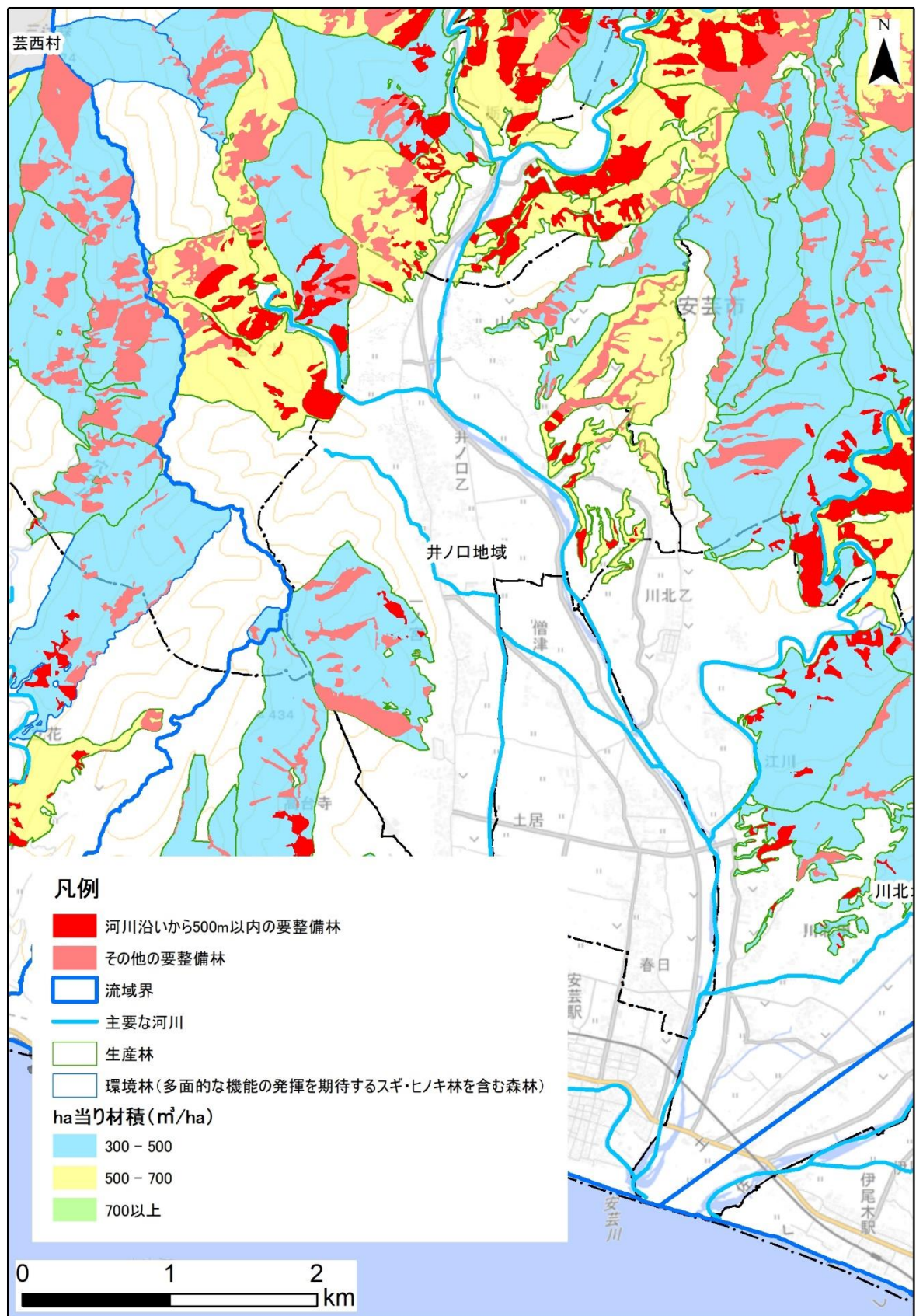


図 2-93 要整備林の分布(井ノ口地域)

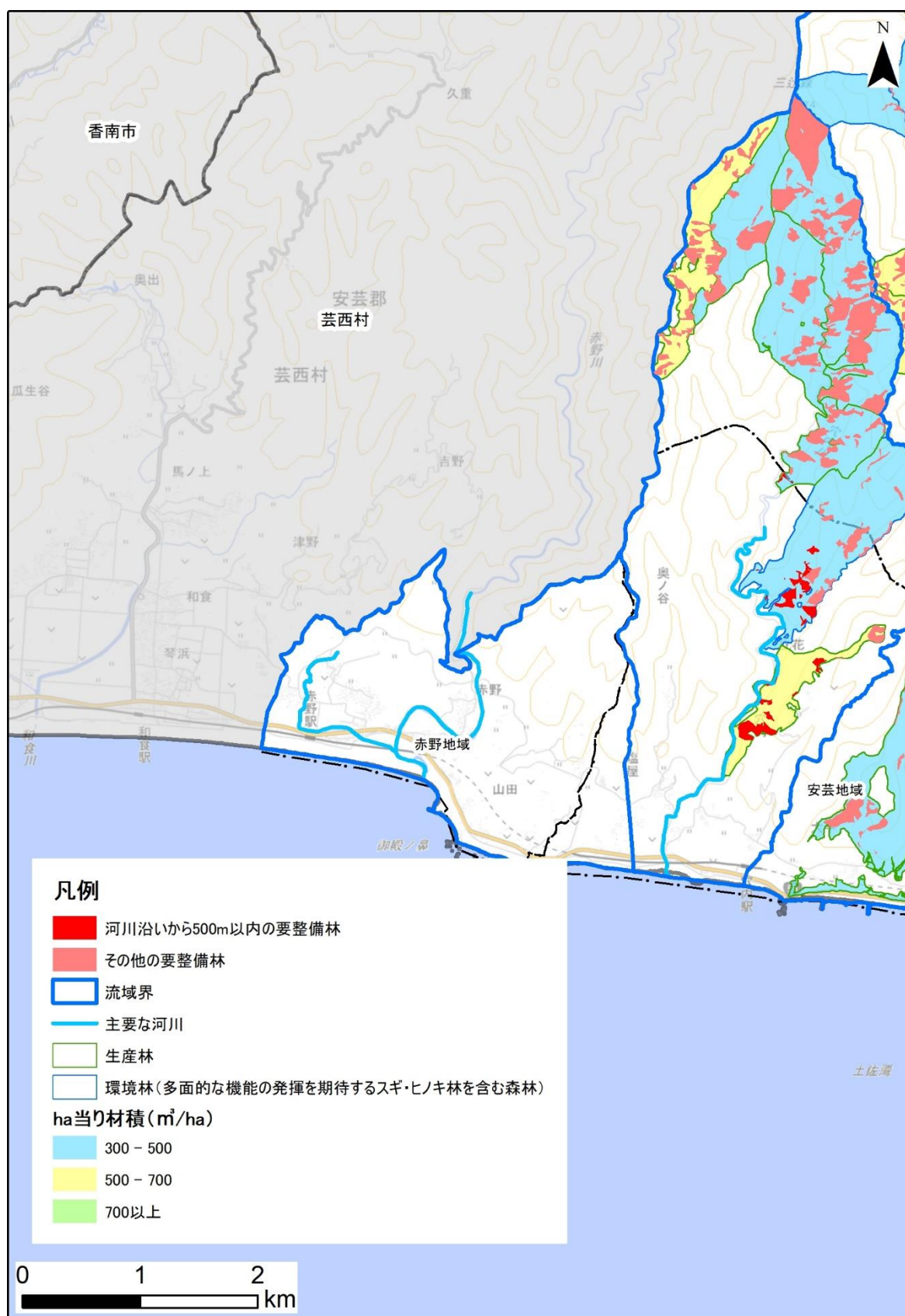


図 2-94 要整備林の分布(赤野地域)

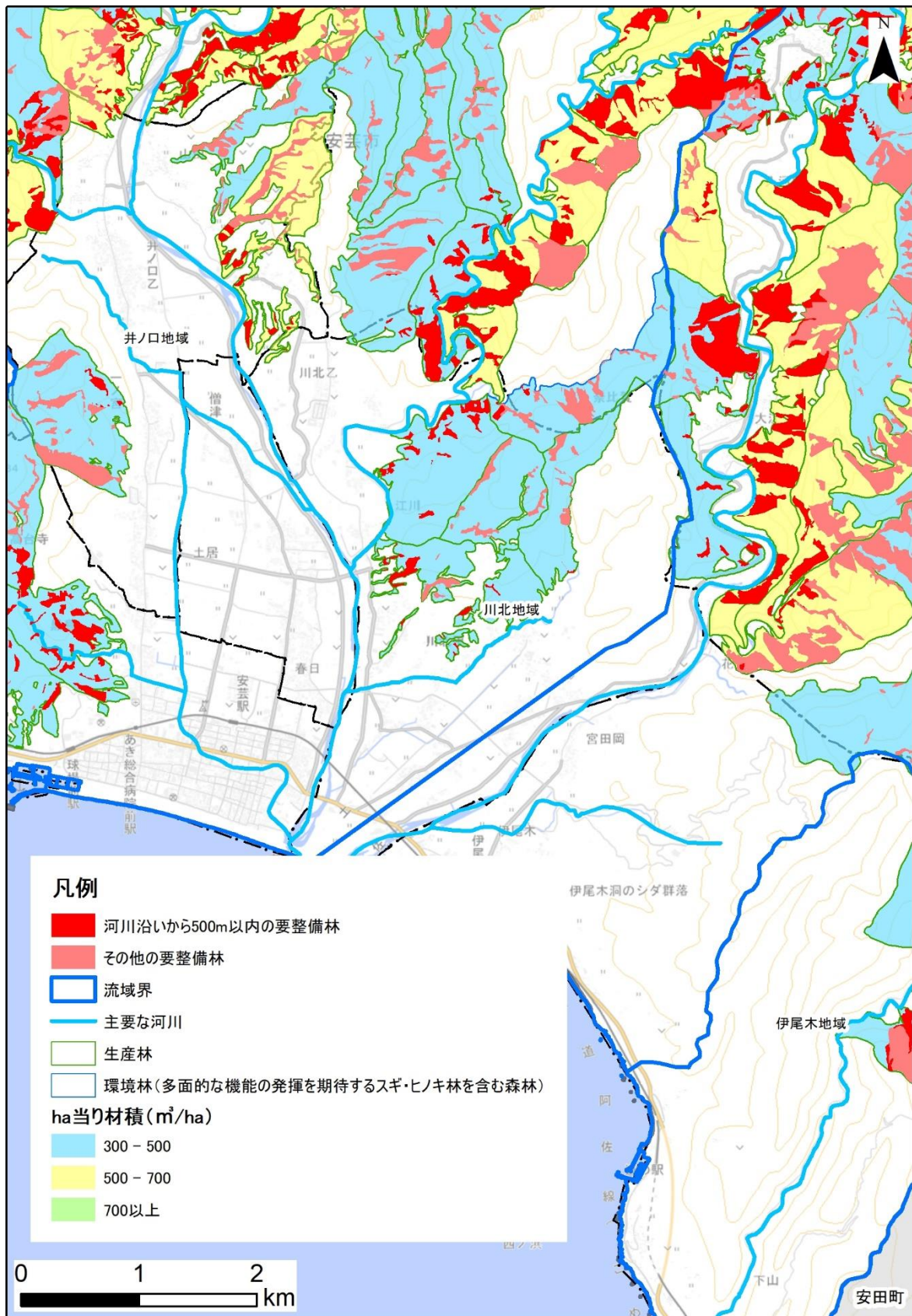


図 2-95 要整備林の分布(川北地域)

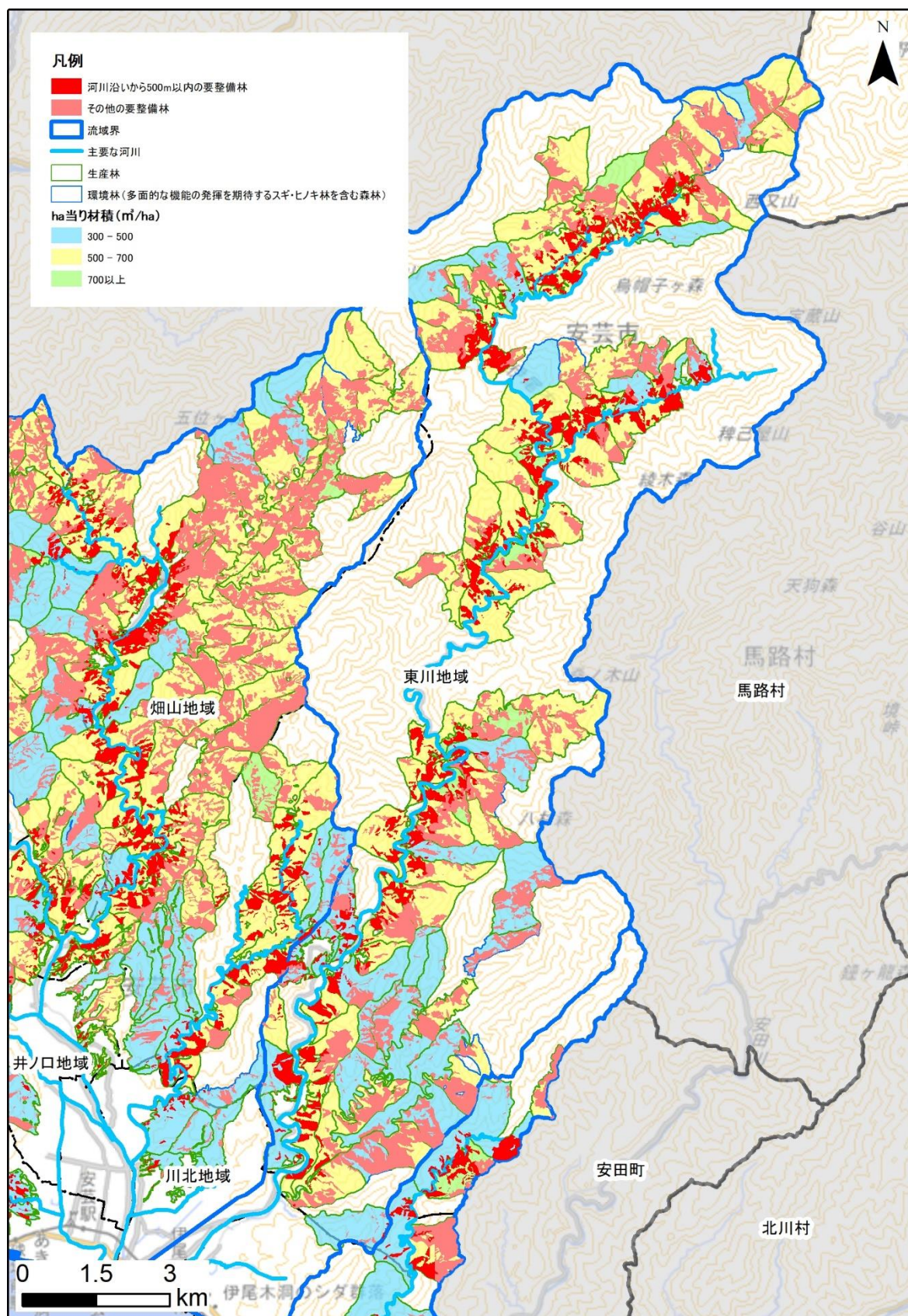


図 2-96 要整備林の分布(東川地域)

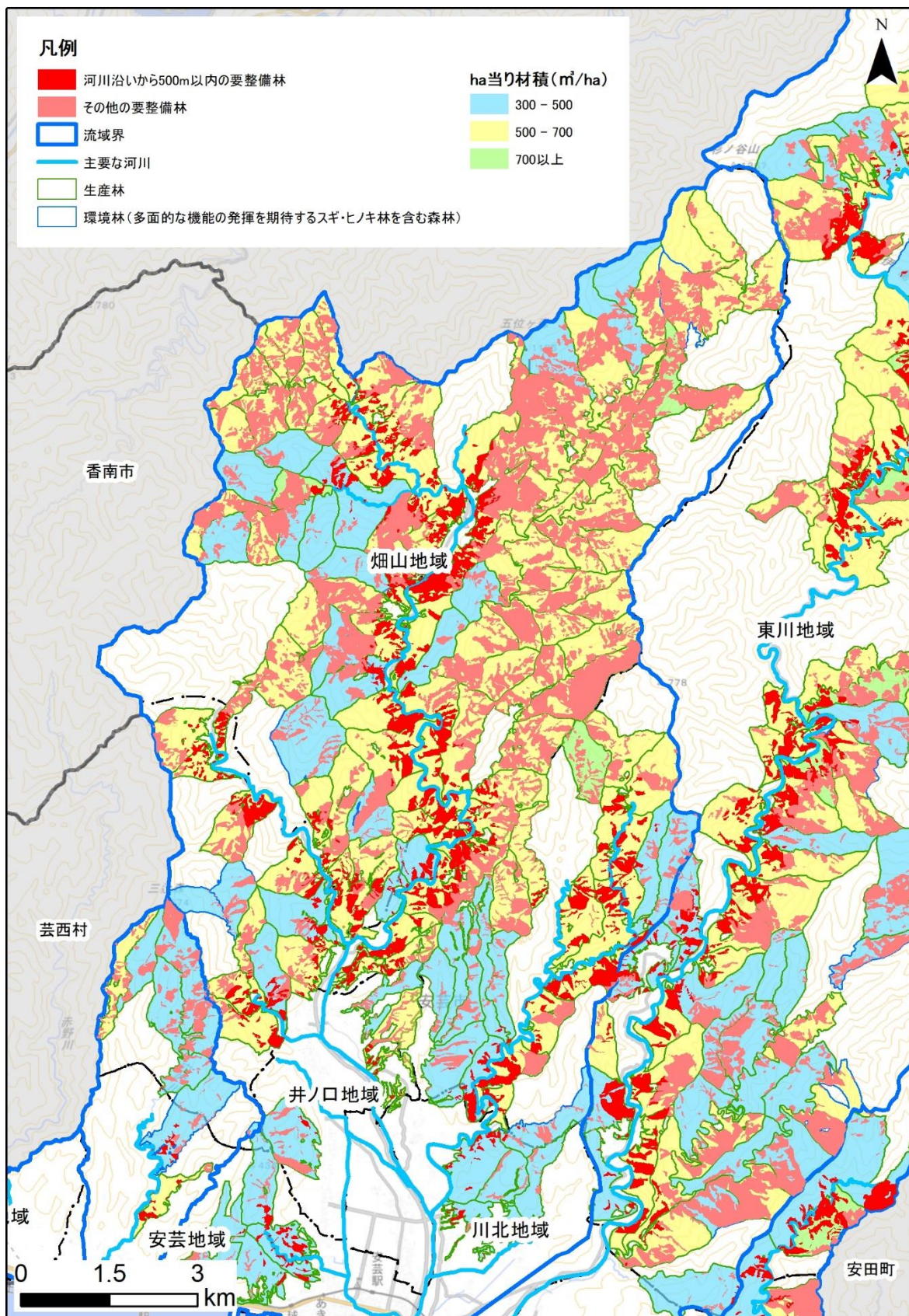
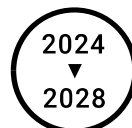


図 2-97 要整備林の分布(畑山地域)

BLUE
FOREST
BLUE
OCEAN

安芸市流域森づくり構想

～森から海へ、すべての人にその恩恵が行き渡るまちづくり～



発行日 令和6年(2024年)3月

作成 高知県安芸市

編集 安芸市森林整備促進協議会

事務局 安芸市農林課
〒784-8501 高知県安芸市土居82-1
TEL.0887-35-1016